

高校世界史プリント（過去問類似）

古代（諸地域世界の形成） No.4

名前

得点

/11

問1 前4世紀後半にチャンドラグプタによって建国されたインド最初の統一王朝は、ガンジス川中流域の都市に都を置いた。第3代のアショーカ王の時代には、この都で第3回の仏典結集が行われるなど、仏教保護政策の拠点ともなった。この都の名称として正しいものを答えよ。（2018年 全国公立入試 類似）

1. モヘンジョダロ 2. ラージャグリハ 3. パータリプトラ 4. ヴアイシャーリー

問2 秦の統一後に全国へ導入され、中央から官僚を派遣して地方を直接支配することで、それまでの周代の血縁的・分権的な統治体制から中央集権的な体制へと移行させる役割を果たした地方行政制度は何か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 州県制 2. 郡県制 3. 封建制 4. 郡国制

問3 4世紀から9世紀にかけて中央アメリカのユカタン半島を中心に繁栄し、ゼロの概念を取り入れた記数法による数学や、極めて精密な太陽暦、独自の絵文字などを用いたことで知られる、メソアメリカの古典期を代表する文明は何か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. マヤ文明 2. ナスカ文明 3. インカ文明 4. アステカ文明

問4 紀元前3世紀に中国を統一した秦の初代皇帝の陵墓の東側から発見された、皇帝の死後の世界を守るために作られたとされる、等身大の兵士や馬をかたどった大量の陶製の人形を何と呼ぶか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 五銖銭 2. 兵馬俑 3. 半両銭 4. 唐三彩

問5 アケメネス朝の遠征に対してギリシア諸ポリスが団結して戦った戦争を主題とし、物語風の叙述で『歴史』を著して「歴史の父」と称された、小アジアのハリカルナッソス出身の人物は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ポリビオス 2. ヘロドトス 3. クセノポン 4. トウキディデス

問6 後漢の歴史家である班固が編纂した紀伝体の歴史書において、前漢の宮廷蔵書目録をもとに作成され、儒学の経典などが「六芸略」に分類されている、中国現存最古の体系的図書目録の名称を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 宋史芸文志 2. 漢書芸文志 3. 通志芸文略 4. 隋書経籍志

問7 ペルシア戦争において、サラミスの海戦などで無産市民が三段櫂船の漕ぎ手として活躍したことで民主政が急速に進展し、戦後はデロス同盟の盟主としてエーゲ海の諸ポリスに圧力を加え、「帝国」とも評される支配体制を築いたポリスはどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. メガラ 2. アテネ 3. サモス 4. テーベ

問8 中国を統一した西晋において、一族の諸王に兵権を授けて各地に封じたことが一因となり、初代皇帝の死後に皇族間で発生した大規模な内乱は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 黄巾の乱 2. 黄巢の乱 3. 安史の乱 4. 八王の乱

問9 中国の南北朝時代において、華北を統一した北魏の建国勢力である拓跋氏は、モンゴル高原東部から台頭した遊牧民族の一派であった。のちに孝文帝による漢化政策の対象ともなった、この遊牧民族の名称として最も適当なものを答えよ。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 柔然 2. 突厥 3. 匈奴 4. 鮮卑

問10 後漢末期に起こった太平道や五斗米道などの民間信仰を基盤とし、老荘思想や神仙思想などが融合して中国で形成された、不老長生や現世利益を求める宗教を何というか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 景教 2. 儒教 3. 仏教 4. 道教

問11 秦の滅亡後、楚の霸王を自称した項羽との激しい争いを勝ち抜き、紀元前202年に中国を統一して新たな王朝をひらき、長安を都と定めた人物は誰か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 劉秀 2. 劉邦 3. 曹丕 4. 楊堅

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 パータリプトラ	マウリヤ朝は前4世紀後半にチャンドラグプタによって建国されたインド最初の統一王朝であり、その首都はガンジス川中流域に位置するパータリプトラに置かれた。第3代アショーカ王の治世下では、この都市で第3回の仏典結集が行われるなど、仏教の発展において重要な役割を果たした。インダス川流域に位置するハラッパーなどはインダス文明の遺跡であり、マウリヤ朝の首都ではない。
問2	答え 2 郡県制	秦の始皇帝は、周代の封建制を廃止し、全国を郡に分け、その下に県を置く郡県制を全国に施行した。これにより、中央から直接官僚が派遣されて統治が行われるようになり、強力な中央集権体制が確立された。この制度は、その後の漢代以降の中国王朝における地方統治の基本モデルとなった。
問3	答え 1 マヤ文明	ユカタン半島を中心に栄えたこの文明は、4世紀から9世紀にかけて黄金期（古典期）を迎えた。ゼロの概念を含む二十進法を用いた数学や、1年を365日とする精密な太陽暦、神聖文字と呼ばれる絵文字などが発達した。14世紀にメキシコ高原に成立したアステカ文明や、南米アンデス地方のインカ帝国とは、成立地域や時代、文化面で明確に区別される。
問4	答え 2 兵馬俑	秦の始皇帝は、自身の死後も権力を維持し守護されることを望み、巨大な陵墓を建設させた。1974年にその陵墓の東側から発見されたのが、等身大の兵士や馬、戦車などを精巧にかたどった陶製の像である。これらは軍隊の隊列を模して配置されており、当時の軍制や衣服、武器の様子を伝える貴重な考古学的史料となっている。
問5	答え 2 ヘロドトス	ペルシア戦争の経緯を口承や伝承を交えながら物語風に叙述した『歴史』を著した人物はヘロドトスである。彼は後世に「歴史の父」と称された。同時代のもう一人の代表的な歴史家であり、ペロポネソス戦争を批判的・科学的態度で記述したトゥキディデスとの対比がよく出題される。
問6	答え 2 漢書芸文志	後漢の班固が編纂した『漢書』の「芸文志」は、前漢の宮廷蔵書目録を基礎として作成された、中国現存最古の体系的な図書目録である。本書では、儒学の経典（五経など）が「六芸略」という分類に収められており、当時の学術の分類状況を示す貴重な史料となっている。後世の宋代に成立した『資治通鑑』などは、当然ながらこの目録には収録されていない。
問7	答え 2 アテネ	ペルシア戦争のサラミスの海戦において、重装歩兵としての兵役を担えなかった無産市民が三段権船の漕ぎ手として貢献した。これにより彼らの政治的発言権が高まり、徹底した民主政へと移行した。戦後、このポリスはデロス同盟の資金や軍事力を背景に他のポリスを従属させ、エーゲ海一帯に強力な支配権を確立した。
問8	答え 4 八王の乱	西晋の初代皇帝は、魏が皇族を優遇しなかったために孤立して滅びたと考え、自らの一族を諸王に封じて兵権を与えた。しかし、これが裏目に出て、彼の死後に帝位継承や主導権をめぐる皇族間の激しい内乱へと発展した。この混乱は五胡の侵入を招く契機となった。
問9	答え 4 鮮卑	北魏を建国した拓跋氏は、モンゴル高原から中国北部にかけて活動した遊牧民族である鮮卑の一派である。鮮卑は後漢の衰退後に台頭し、五胡の一角として華北に進出した。北魏の孝文帝の時代には、鮮卑の言語や衣服、姓を禁じて漢民族の文化や制度を取り入れる漢化政策が推進された。
問10	答え 4 道教	後漢末期、張角が組織した太平道や、張陵が創始した五斗米道（天師道）などの民間信仰が起こった。これらが伝統的な老荘思想や、不老不死を求める神仙思想などと融合することで、中国独自の宗教である道教が成立した。道教はのちに北魏の寇謙之によって教団組織が整備され、国家宗教としての地位を確立していく。
問11	答え 2 劉邦	秦末の混乱期において、農民出身の指導者であった人物が、名門出身の項羽との楚漢戦争に勝利し、前漢を建国した。都は長安に置かれ、郡国制を採用するなどして統治の安定を図った。